

ネットいじめ等への対応

-民間業者委託による学校非公式サイト等の監視結果報告-

平成23年度の監視結果を報告します。

なお、本業務については、平成24年度も継続実施しています。

1 結果概要（別紙参考資料参照）

【リスク別件数】

○リスク高（生命に関わるような緊急性の高いもの）1件

○リスク中（緊急性はないが、早期対応が望ましいもの）177件

内容：いじめ・中傷や不法行為など

○リスク低（緊急性はないが、必要に応じ適切な対応が望ましいもの）8,666件

内容：自身の携帯の電話番号、メールアドレスなどの個人情報の流布など

【検出割合】 高等学校約74%、中学校約26%、小学校1%未満、特別支援学校1%未満

【男女比】 女子児童生徒約69%、男子児童生徒約29%、不明約2%

【検出内容】 個人情報の流布約91%、飲酒・喫煙等の不良行為約7%、
いじめ・中傷約2% 等

個人情報の流布等の不適切な書き込みが多数検出されるとともに、誹謗・中傷等（リスク中）も、月平均15件程度検出されており、継続して監視を行う。

2 対応

○当該教育委員会及び当該校に情報提供、削除要請等の対応を行った。

○当該校においては、状況に応じた個別指導により行為の重大性を理解させる指導や全体指導による情報モラルの啓発指導を行った。

○今後とも監視業務を継続、早期発見・早期対応に努める。

【関連する本府の取組】

○広く府民から情報提供を受け、学校での指導や削除要請につなげるため「ネットいじめ通報サイト」を開設（平成20年6月～）

○携帯電話やパソコンにおけるフィルタリングの普及促進（啓発用リーフレットを学校教育課HPに掲載中）

【参考資料】

総括表（平成23年4月～平成24年3月）

（単位 件）

	レベル低	レベル中	レベル高	合計
小学校	33	2	0	35
中学校	2,157	100	1	2,258
高等学校	6,474	75	0	6,549
特別支援学校	2	0	0	2
合計	8,666	177	1	8,844

